

イチ押し^①の大学はここだ！



面倒見が良い大学

表1



ranking	name	place	point
4	国際教養大 ^②	秋田	141
5	福岡工業大	福岡	121
6	明治大	東京	120
7	東京理科大	東京	113
8	産業能率大	東京	85
9	昭和女子大	東京	84
10	東京大 ^①	東京	82
11	千葉工業大	千葉	65
12	九州工業大 ^②	福岡	60
13	立命館大	京都	56

ranking	name	place	point
14	津田塾大	東京	53
	東京女子大	東京	53
16	高知工科大 ^②	高知	47
17	国際基督教大	東京	45
18	神戸女学院大	兵庫	42
19	名古屋商科大	愛知	41
20	大阪大 ^①	大阪	38
	上智大	東京	38

無印:私立大学 ①:国立大学 ②:公立大学

国内に約800校ある4年制大学の中で、進学できる大学はたったの1校です。できるだけ自分に合った大学を選ぶために、エキスパートの意見を参考にしたいかがでしょうか。このコーナーでは進学校の進路指導教諭イチ推しの大学を、項目ごとに紹介していきます。

大学通信 情報調査・編集部 雫純平

毎年大学通信は、進学校の進路指導教諭を対象に、大学の評価や、翌春の入試の傾向に関するアンケートを行っています。2024年度は約3000校に送付し、766校から回答がありました。

それでは早速、大学選びの参考になる、進路指導教諭お勧めの大学ランキングを見ていきましょう。ランキングは項目ごとに進路指導教諭お勧めの大学を5校連記で記入してもらい、最初に回答された大学を5ポイント、次の大学を4ポイント…として集計したものです。

「実際にキャンパス見学、説明会に参加して強く感じた」(福岡・私立校)などのコメントが寄せられています。同大企画部企画広報室長の下津竜之さんにもお話を伺いました。

「4年間でしっかりと成長して卒業してほしい」ということを第一に考え、早くから学生目線に立った教育研究体制を整えてきました。数理科目に不安のある学生のための数理工教育研究センターや、図書館に設置した学習

20年連続
面倒見が良い大学の1位は

表3 教育力が高い大学

1	東京大	東京	843
2	東北大	宮城	780
3	京都大	京都	497
4	東京理科大	東京	187
5	大阪大	大阪	171
6	国際教養大	秋田	164
7	九州大	福岡	155
8	東京科学大*	東京	138
9	早稲田大	東京	125
10	名古屋大	愛知	122
11	筑波大	茨城	113
12	慶應義塾大	東京	96
13	北海道大	北海道	80
14	武蔵大	東京	71
15	金沢工業大	石川	56
16	国際基督教大	東京	50
17	立命館アジア太平洋大	大分	49
18	一橋大	東京	44
	広島大	広島	44
20	同志社大	京都	42

*東京医科歯科大と東京工業大の合計

支援デスクなど、授業外でも教員に気軽に相談や質問をできる窓口を複数設けています」
2位は東北大です。進路指導教諭からは「教員と学生の距離が近く、丁寧な指導が行われている」(大阪・私立校)、「進化した生徒が力を発揮できている」(岩手・公立校)などの評価です。

2位は金沢工業大で、「集まった学生を徹底的に育てている」(富山・公立校)、「将来の就職を意識した面倒見の良さ」(東

表2 就職に力を入れている大学

関東・中信越

1	明治大	東京	349
2	金沢工業大	石川	126
3	早稲田大	東京	123
4	法政大	東京	118
5	昭和女子大	東京	95

北陸・東海

1	金沢工業大	石川	97
2	中京大	愛知	41
3	福井大	福井	40
4	明治大	東京	31
5	名城大	愛知	23

近畿

1	大阪工業大	大阪	58
2	近畿大	大阪	48
3	立命館大	京都	35
4	関西学院大	兵庫	29
5	金沢工業大	石川	22
	関西大	大阪	22

中国・四国

1	明治大	東京	31
2	高知工科大	高知	26
3	金沢工業大	石川	21
4	九州工業大	福岡	19
5	美作大	岡山	18

九州・沖縄

1	九州工業大	福岡	113
2	福岡工業大	福岡	90
3	金沢工業大	石川	23
4	九州産業大	福岡	21
5	福岡大	福岡	16

1	明治大	東京	518
2	金沢工業大	石川	339
3	早稲田大	東京	181
4	九州工業大	福岡	159
5	法政大	東京	156
6	慶應義塾大	東京	115
7	福岡工業大	福岡	103
8	昭和女子大	東京	99
9	東京理科大	東京	93
10	芝浦工業大	東京	91
	近畿大	大阪	91
12	立命館大	京都	82
13	産業能率大	東京	77
14	大阪工業大	大阪	60
15	中央大	東京	57
16	福井大	福井	56
17	日本大	東京	50
18	東北大	宮城	42
	立教大	東京	42
	関西学院大	兵庫	42

北海道・東北

1	明治大	東京	77
2	金沢工業大	石川	50
3	早稲田大	東京	30
4	山形大	山形	21
5	弘前大	青森	17
	東北大	宮城	17
	法政大	東京	17

無印:私立大学 ㊦:国立大学 ㊧:公立大学

3位は武蔵大で、「ゼミの武蔵と言われるだけのことはある」(埼玉・公立校)など、少人数制のゼミナールの充実についての記載が多くありました。

1位の金沢工業大を含め、5位の福岡工業大、7位の東京理科大、11位の千葉工業大、12位の九州工業大、16位の高知工科大など、工科系大学が数多くランクインしています。工科系大学は研究や実習を通じて教職員と学生の距離が近いことに加え、優良企業等への就職実績も高くなっています。送り出した卒業生を手厚く育ててくれた、「面倒見の良い大学として実感しやすいのではないのでしょうか。

表2は、「就職に力を入れている大学」です。1位は明治大でした。進路指導教諭からは、「キャリア形成を意識した充実したプログラム」(茨城・私立校)、「OBOGのネットワークの強さ」(栃木・公立校)などと評価されています。

表6 改革力が高い大学

1	東北大	宮城	533
2	早稲田大	東京	408
3	近畿大	大阪	290
4	東京科学大	東京	238
5	東京大	東京	230
6	東洋大	東京	167
7	立命館大	京都	144
8	明治大	東京	122
9	京都大	京都	102
10	筑波大	茨城	86
11	千葉工業大	千葉	85
12	九州大	福岡	69
13	金沢大	石川	67
14	立教大	東京	51
15	大阪大	大阪	47
16	青山学院大	東京	46
17	広島大	広島	41
18	千葉大	千葉	36
19	一橋大	東京	35
20	慶應義塾大	東京	34
	東京理科大	東京	34

表5 研究力が高い大学

1	東京大	東京	1,363
2	京都大	京都	1,041
3	東北大	宮城	912
4	東京科学大	東京	359
5	大阪大	大阪	280
6	名古屋大	愛知	160
7	筑波大	茨城	141
8	九州大	福岡	136
9	東京理科大	東京	95
10	北海道大	北海道	73
11	早稲田大	東京	49
12	千葉工業大	千葉	37
13	慶應義塾大	東京	36
14	九州工業大	福岡	35
15	広島大	広島	33
16	近畿大	大阪	29
17	芝浦工業大	東京	28
18	信州大	長野	23
19	同志社大	京都	21
20	立命館大	京都	20

表4 グローバル教育に力を入れている大学

1	国際教養大	秋田	1,007
2	立命館アジア太平洋大	大分	480
3	国際基督教大	東京	469
4	上智大	東京	432
5	東京外国語大	東京	191
6	早稲田大	東京	175
7	東北大	宮城	162
8	東京大	東京	154
9	神田外語大	千葉	138
10	立教大	東京	101
11	同志社大	京都	79
12	千葉大	千葉	78
13	立命館大	京都	63
14	青山学院大	東京	52
15	関西外国語大	大阪	49
16	名古屋外国語大	愛知	46
17	昭和女子大	東京	45
	関西学院大	兵庫	45
19	九州大	福岡	42
20	京都大	京都	41

京・私立校)など、先に触れた面倒見の良さや連動した評価が目立ちます。3位は早稲田大で「一流企業に勤める卒業生との交流が盛ん」(大阪・私立校)などでした。

アンケートに回答した高校の所在地から地域別に集計すると、「北海道・東北」の高校では上位が明治大、金沢工業大、早稲田大まで全国編と同じで、地域内の大学では、4位の山形大がトップでした。「関東・甲信越」も3位まで同じ並びで、4位は法政大です。「北陸・東海」は金沢工業大、中京大、福井大。「近畿」は大阪工業大、近畿大、立命館大。「中国・四国」は明治大、高知工科大、金沢工業大。「九州・沖縄」は九州工業大、福岡工業大、金沢工業大の順でした。地元の大学が上位を占める中、金沢工業大は全ての地域で5位以内に入っています。

表3は「教育力が高い大学」で、

東大、東北大、京大と難関国立大が上位に並びます。この3大下、京大、東北大、東京科学大、大阪大、名古屋大など、上位を難関国立大が占めています。4

私立校)というコメントがありました。私立大のトップは4位の東京理科大で、「大学生のあるべき姿」(岐阜・私立校)「レポート量が多く、本校の卒業生も苦しみながらも力をつけている」(埼玉・私立校)など、同大が掲げる実力主義に関するコメントが寄せられています。

表4は「グローバル教育に力を入れている大学」です。トップの国際教養大は04年に秋田に開学した比較的新しい公立大で、すべて英語の少人数授業、1年間の留学義務、学生の4人に1人が留学生という多文化共生のキャンパスなどが特徴です。2位以下は、立命館アジア太平洋大、国際基督教大、上智大、東京外国語大、早稲田大、東北大など、いずれも日本のグローバル化をけん引するスーパーグローバル大学(SGU)が並びます。

進路指導教諭からの期待度が高い東京科学大

表5は「研究力が高い大学」で、1位は10年連続の東大です。以下、京大、東北大、東京科学大、大阪大、名古屋大など、上位を難関国立大が占めています。4

表9

入学後、生徒の満足度が高い大学

1	東京大 ㊦	東京	488
2	東北大 ㊦	宮城	391
3	京都大 ㊦	京都	335
4	早稲田大	東京	205
5	明治大	東京	157
6	大阪大 ㊦	大阪	139
7	北海道大 ㊦	北海道	114
8	筑波大 ㊦	茨城	101
9	慶應義塾大	東京	98
10	九州大 ㊦	福岡	87
11	名古屋大 ㊦	愛知	78
12	同志社大	京都	77
13	上智大	東京	66
14	立教大	東京	61
15	金沢工業大	石川	57
16	青山学院大	東京	55
17	国際基督教大	東京	53
18	近畿大	大阪	46
19	東京科学大 ㊦*	東京	45
	一橋大 ㊦	東京	45
	東京理科大	東京	45

表8

入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

1	東北大 ㊦	宮城	571
2	金沢工業大	石川	295
3	東京大 ㊦	東京	268
4	東京理科大	東京	248
5	国際教養大 ㊦	秋田	148
6	京都大 ㊦	京都	147
7	筑波大 ㊦	茨城	115
8	武蔵大	東京	81
9	九州大 ㊦	福岡	75
10	北海道大 ㊦	北海道	71
11	東京科学大 ㊦*	東京	68
12	明治大	東京	59
13	大阪大 ㊦	大阪	57
14	産業能率大	東京	49
15	名古屋大 ㊦	愛知	42
16	国際基督教大	東京	40
17	千葉大 ㊦	千葉	39
18	九州工業大 ㊦	福岡	38
	昭和女子大	東京	38
20	中央大	東京	35

表7

小規模だが評価できる大学

1	国際教養大 ㊦	秋田	531
2	武蔵大	東京	268
3	国際基督教大	東京	196
4	会津大 ㊦	福島	185
5	金沢工業大	石川	171
6	一橋大 ㊦	東京	150
7	都留文科大 ㊦	山梨	134
8	産業能率大	東京	108
9	立命館アジア太平洋大	大分	89
10	津田塾大	東京	87
11	公立はこだて未来大 ㊦	北海道	57
12	九州工業大 ㊦	福岡	48
13	高知工科大 ㊦	高知	46
14	神田外語大	千葉	40
15	電気通信大 ㊦	東京	38
16	上智大	東京	37
	福岡工業大	福岡	37
18	三条市立大 ㊦	新潟	36
19	名古屋商科大	愛知	34
20	室蘭工業大 ㊦	北海道	33

無印:私立大学 ㊦:国立大学 ㊦:公立大学 *東京医科歯科大と東京工業大の合計

表7は「小規模だが評価できる大学」。1位は「グローバル教育に力を入れている大学」と同

位の東京科学大は、24年10月に東京工業大と東京医科歯科大が統合して発足するもので、アンケートでは統合前の2校を記入した回答も含めて集計しています。元々研究力の高い指定国立大2校の統合だけに、期待が高まっているようです。私立大の最上位は9位の東京理科大でした。

表6の「改革力が高い大学」では、昨年2位の東北大がトップに立ちました。以下、早稲田大、近畿大、東京科学大、東大、東洋大の順です。東北大は世界トップを目指す「国際卓越研究大学」の初の認定候補として文部科学省に選定されました。研究力のみならず、財務戦略や運営体制等も認定基準とされていることから、大学改革を先導する役割としての期待も大きくなっています。4位の東京科学大は、東京工業大と東京医科歯科大が統合して成立すること自体が大きな改革として、進路指導教諭たちに印象付いているようです。

表9は「入学後、生徒の満足度が高い大学」。1位は東大で、

じく、国際教養大でした。以下、武蔵大、国際基督教大、会津大、金沢工業大、一橋大、都留文科大、産業能率大と続きます。産樹さんは、こう話します。「総合型選抜では例えば自分の住む自治体について活性化の案をまとめるなど、やや難度の高い課題を取り入れています。それらを通じて成長した学生たちは自己肯定感が高く、一般選抜などで入学した他の学生にも良い刺激を与えてくれるようです。課題解決型の初年次ゼミでは、とても意欲高く取り組む学生たちの姿を見ることができました」

表8は「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。1位は東北大で、以下、金沢工業大、東大、東京理科大、国際教養大と続きます。東北大は「面倒見」2位、「教育力」2位、「改革力」1位など、様々な項目で上位にランキングしています。その結果として生徒が存分に成長できる環境が整えられているのではないのでしょうか。

偏差値や地理的条件、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい私立大学

1	早稲田大	東京	1,238
2	慶應義塾大	東京	903
3	東京理科大	東京	363
4	明治大	東京	355
5	上智大	東京	293
6	国際基督教大	東京	263
7	同志社大	京都	261
8	金沢工業大	石川	103
9	立命館大	京都	93
10	立教大	東京	89
11	立命館アジア太平洋大	大分	80
12	青山学院大	東京	68
13	関西学院大	兵庫	50
14	中央大	東京	48
15	芝浦工業大	東京	46
16	西南学院大	福岡	43
17	近畿大	大阪	40
18	関西大	大阪	37
19	法政大	東京	35
20	学習院大	東京	30
	武蔵大	東京	30

偏差値や地理的条件、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい国立大学

1	東京大 ^国	東京	1,217
2	京都大 ^国	京都	945
3	東北大 ^国	宮城	870
4	北海道大 ^国	北海道	303
5	東京科学大 ^{国*}	東京	292
6	大阪大 ^国	大阪	283
7	国際教養大 ^国	秋田	203
8	九州大 ^国	福岡	183
9	筑波大 ^国	茨城	180
10	名古屋大 ^国	愛知	173
11	一橋大 ^国	東京	141
12	金沢大 ^国	石川	64
13	神戸大 ^国	兵庫	60
14	千葉大 ^国	千葉	54
15	広島大 ^国	広島	53
16	東京外国語大 ^国	東京	47
17	横浜国立大 ^国	神奈川	40
18	大阪公立大 ^国	大阪	39
19	信州大 ^国	長野	38
20	名古屋工業大 ^国	愛知	36

表10 生徒に人気がある大学

1	明治大	東京	466
2	早稲田大	東京	442
3	立教大	東京	295
4	青山学院大	東京	275
5	東北大 ^国	宮城	239
6	慶應義塾大	東京	193
7	東京大 ^国	東京	182
8	京都大 ^国	京都	148
9	名古屋大 ^国	愛知	130
10	東洋大	東京	125
11	筑波大 ^国	茨城	122
12	近畿大	大阪	119
13	関西大	大阪	111
14	同志社大	京都	104
15	北海道大 ^国	北海道	102
16	立命館大	京都	101
17	上智大	東京	98
18	福岡大	福岡	94
19	九州大 ^国	福岡	93
20	神戸大 ^国	兵庫	90

無印:私立大学 国:国立大学 国:公立大学 *東京医科歯科大と東京工業大の合計

表11は「偏差値や地理的条件、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」で、国公立大と私立大に分けて集計しています。国公立大の1位は東大で、以下、京大、東北大、北海道大、東京科学大、大阪大の順。前出

の小林さんは、5位の東京科学大に注目します。「大阪大や九州大などよりも上位にきています。総合大学として、医と理工系を融合した最先端の研究ができることに対する期待の表れではないでしょうか」私立大の1位は早稲田大で、以下、慶應義塾大、東京理科大、明治大、上智大、国際基督教大と続きます。「6位に国際基督教大、11位に立命館アジア太平洋大が来ているのは、コロナ禍が一定の収束を迎え、留学などの国際交流がしやすくなったことと関係がありそうです」(前出の小林さん)

「明治大は以前から幅広い学力層の受験生に人気がありますが、近年は特に女子受験生からの支持が高まっています。また、多くの学部が所在する駿河台(東京都千代田区)と和泉(同杉並区)に、中野(同中野区)を加えた3キャンパスの立地の良さも人気の理由でしょう」

次に、ランキングを離れて、受験生の入試に関する意識についてのグラフを見ていきましょう。グラフ1は「共通テストの志願状況」についての調査結果をまとめたものです。25年度(25年4月入学)の共通テストの志願者数が「今年より増える」とする意見は7・3%に留まりました。その6倍近い、42・8%の進路指導教諭が「今年より減

表11は「偏差値や地理的条件、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」で、国公立大と私立大に分けて集計しています。国公立大の1位は東大で、以下、京大、東北大、北海道大、東京科学大、大阪大の順。前出

の小林さんは、5位の東京科学大に注目します。「大阪大や九州大などよりも上位にきています。総合大学として、医と理工系を融合した最先端の研究ができることに対する期待の表れではないでしょうか」私立大の1位は早稲田大で、以下、慶應義塾大、東京理科大、明治大、上智大、国際基督教大と続きます。「6位に国際基督教大、11位に立命館アジア太平洋大が来ているのは、コロナ禍が一定の収束を迎え、留学などの国際交流がしやすくなったことと関係がありそうです」(前出の小林さん)

「明治大は以前から幅広い学力層の受験生に人気がありますが、近年は特に女子受験生からの支持が高まっています。また、多くの学部が所在する駿河台(東京都千代田区)と和泉(同杉並区)に、中野(同中野区)を加えた3キャンパスの立地の良さも人気の理由でしょう」

次に、ランキングを離れて、受験生の入試に関する意識についてのグラフを見ていきましょう。グラフ1は「共通テストの志願状況」についての調査結果をまとめたものです。25年度(25年4月入学)の共通テストの志願者数が「今年より増える」とする意見は7・3%に留まりました。その6倍近い、42・8%の進路指導教諭が「今年より減

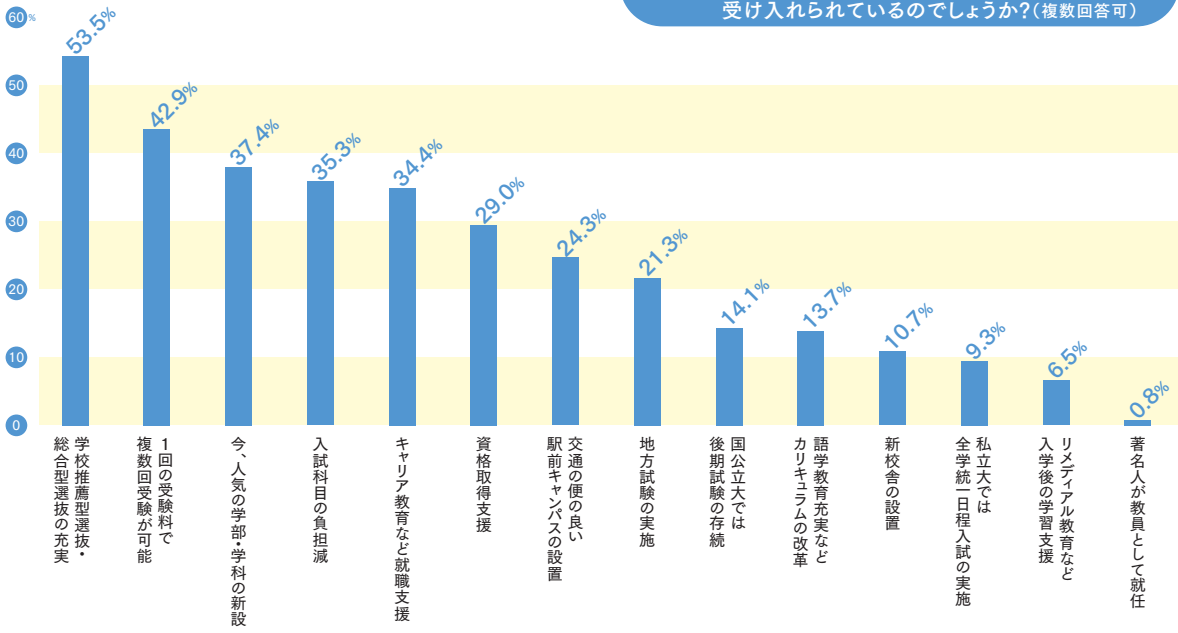
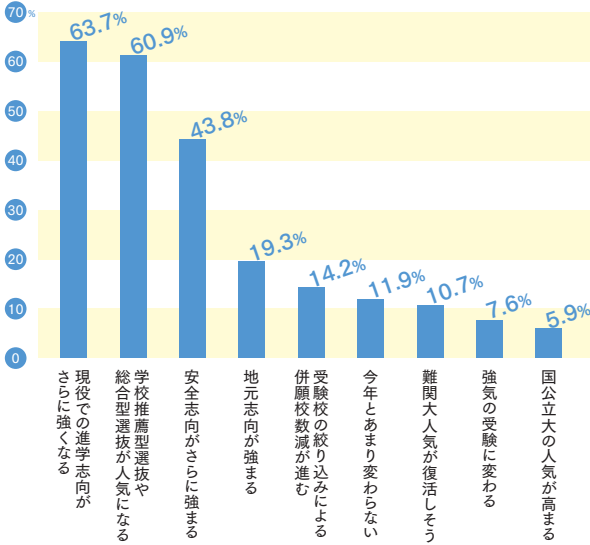
東北大、京大が続きます。これらの難関国立大は第一志望であるケースがほとんどです。厳しい受験を突破して入学できた大学に対して、満足度が高いということではないでしょうか。私立大では4位に早稲田大、5位に明治大が入っています。

表10は「生徒に人気がある大学」。1位は明治大です。以下、早稲田大、立教大、青山学院大の順です。明治大の人気については、教育ジャーナリストの小林哲夫さんは、こう分析します。「明治大は以前から幅広い学力層の受験生に人気がありますが、近年は特に女子受験生からの支持が高まっています。また、多くの学部が所在する駿河台(東京都千代田区)と和泉(同杉並区)に、中野(同中野区)を加えた3キャンパスの立地の良さも人気の理由でしょう」

表10は「生徒に人気がある大学」。1位は明治大です。以下、早稲田大、立教大、青山学院大の順です。明治大の人気については、教育ジャーナリストの小林哲夫さんは、こう分析します。「明治大は以前から幅広い学力層の受験生に人気がありますが、近年は特に女子受験生からの支持が高まっています。また、多くの学部が所在する駿河台(東京都千代田区)と和泉(同杉並区)に、中野(同中野区)を加えた3キャンパスの立地の良さも人気の理由でしょう」

次に、ランキングを離れて、受験生の入試に関する意識についてのグラフを見ていきましょう。グラフ1は「共通テストの志願状況」についての調査結果をまとめたものです。25年度(25年4月入学)の共通テストの志願者数が「今年より増える」とする意見は7・3%に留まりました。その6倍近い、42・8%の進路指導教諭が「今年より減

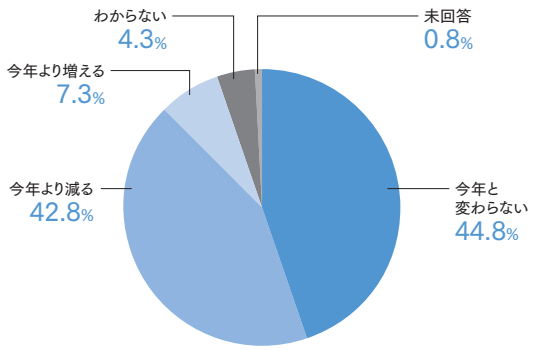
「現役志向」「安全志向」「地元志向」が強まっています。2025年の大学選びは、どうなるとお考えでしょうか？(複数回答可)



大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしようとしています。こういった改革が受験生に受け入れられているのでしょうか？(複数回答可)

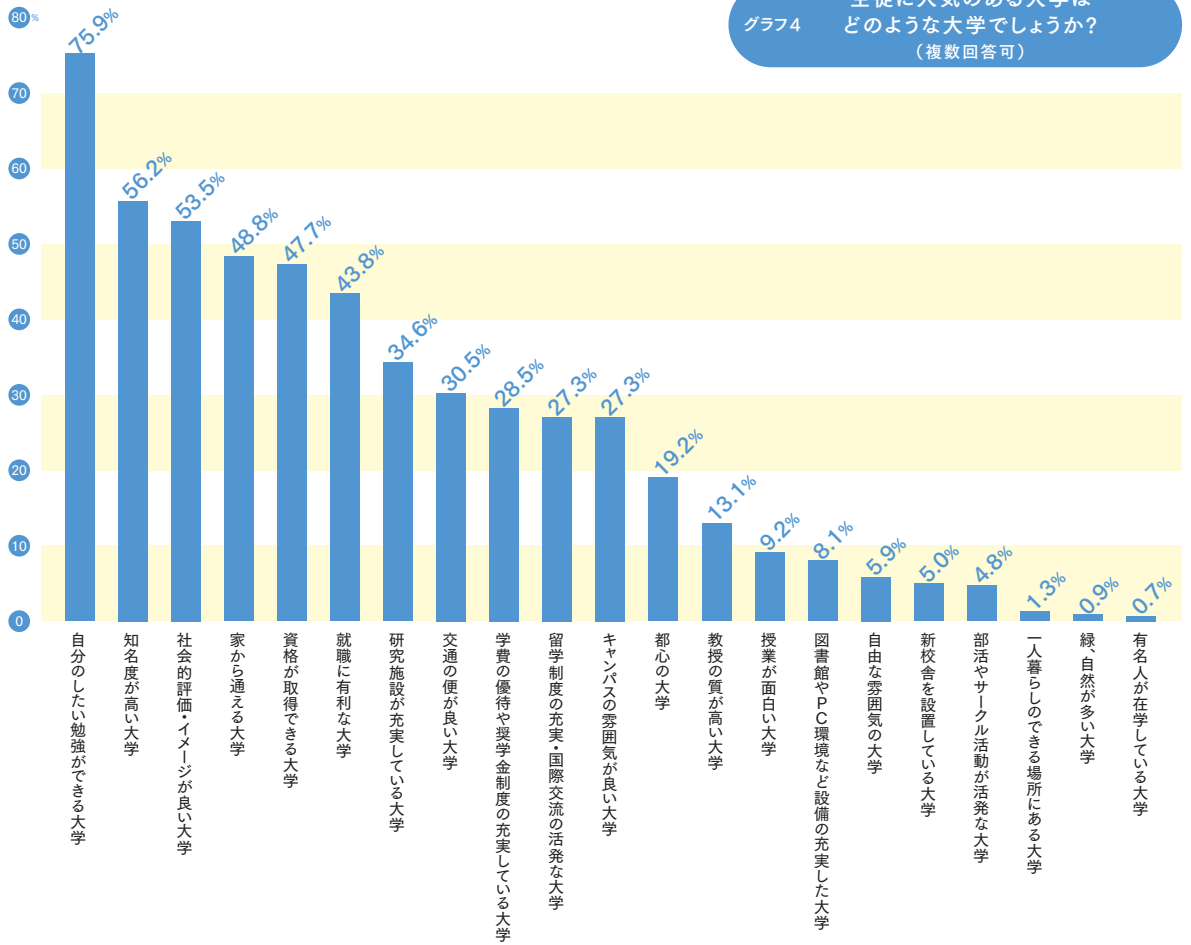
「安全志向がさらに強まる」が43・8%でした。グラフ3の「受験生に受け入れられる改革」では、「学校推薦型選抜・総合型選抜の充実」が53・5%で、3年連続のトップでした。次いで「1回の受験料で複数回受験が可能」の42・9%、「今、人気の学部・学科の新設」の37・4%などです。「入試科目の負担減」も35・3%と高いですが、近年は早稲田大・政治経済が21年に数学を必須化したように、優秀な学生を確保する目的で難関大を中心に入試科目の負担増に動くケースが見られます。頭を悩ませている受験生も

新課程初年度の共通テストについて、2025年の志願者はどうなると思いますか？



「と回答しています。25年度から始まる新課程入試では、国語や数学の試験時間が延長され、「情報」教科が新設されます。受験生の負担増を背景に、共通テスト離れが起こるかもしれません。グラフ2は、受験生の「大学選びの傾向」です。最も多かったのは「現役での進学志向がさらに強くなる」で63・7%です。次いで「学校推薦型選抜や総合型選抜が人気になる」が60・9%、「安全志向がさらに強まる」が43・8%でした。

生徒に人気のある大学はどのような大学でしょうか？
(複数回答可)



多いのではないのでしょうか。

グラフ4の「生徒に人気のある大学」では、「自分のしたい勉強ができる大学」が75・9%で最多でした。次いで56・2%の「知名度が高い大学」、53・5%の「社会的評価・イメージが良い大学」の順です。社会的評価や知名度が高く、様々な分野を学ぶことができる難関大が人気になる理由が伺えます。また、家計への負担を考慮してか、「家から通える大学」が48・8%で、昨年から1つ順位を上げて4位となりました。

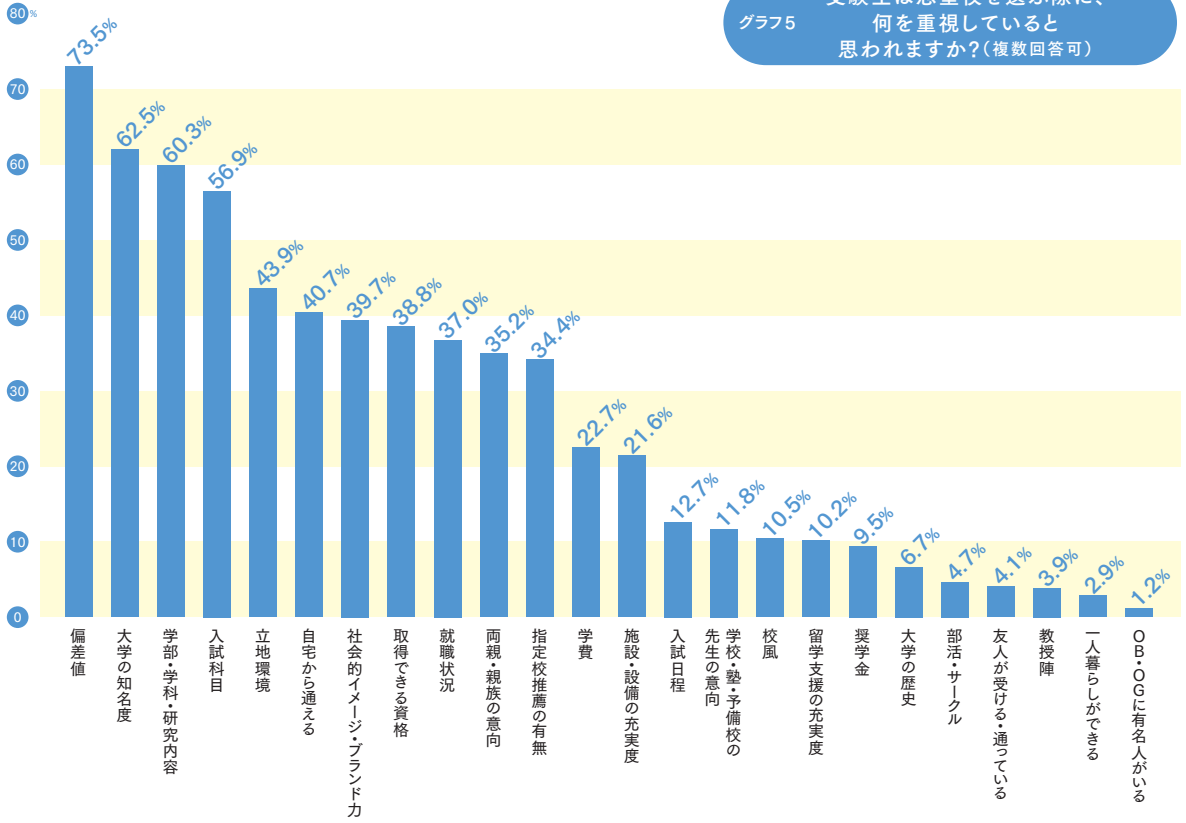
グラフ5は受験生が「志望校選びで重視すること」を聞いたものです。最多の回答は「偏差値」の73・5%、次が「大学の知名度」で62・5%でした。難関大や有名大に入りたいとチャレンジすることは、とても素晴らしいことです。ただ、入学後のミスマッチ回避のためには、60・3%の「学部・学科・研究内容」も忘れずにチェックしておきましょう。

グラフ6の「来年入試で人気になりそうな学部・学科系統」では、情報系が54・1%で最多となりました。データサイエン

ス系も40・5%で4番目に高くなっています。これは日本の成長産業であるデジタル分野での活躍を志す受験生が増えていることを示しており、心強く感じます。ほか、文系で人気が高いのは経済系(44・2%)、経営系(40・7%)などです。コロナ禍で人気を落とした国際系は、21年調査の16・1%から27・1%まで回復してきています。また、理系では看護(29・9%)、医療技術系(27・7%)など、資格職へつながる系統の人气が高いようです。それに続くのは、やはり就職に強い工学系(26・4%)です。

少子化が進み18歳人口が減る一方で、大学の数が増えています。その結果、大学進学を希望する人数が全ての大学の定員数の合計を下回る、「大学全入時代」が到来しました。「入れる大学の」数が増えた時代だからこそ、「入りたい大学」を意識して探すことの重要性が増しています。ここに掲載した受験のエキスパートである進路指導教諭の意見が、後悔のない大学選びの一助となれば幸いです。

受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視していると思われますか？(複数回答可)



2025年入試で生徒に人気になりそうな学部・学科系統はどこでしょうか？(複数回答可)

